

追手門学院大学のポリシー

追手門学院大学では、各学部において、ディプロマ・ポリシー¹（学位授与方針）、カリキュラム・ポリシー²（教育課程の編成・実施方針）、アドミッション・ポリシー³（入学者受け入れ方針）をそれぞれ次のように定め、カリキュラムマップとして示しています。

ディプロマ・ポリシー

各学部の学位授与方針をディプロマ・ポリシーとして掲げています。

これは、学部の教育理念に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針であり、学生の学修成果の目標ともなるものです。

どのような学修成果に対し卒業を認定し、学位を授与するのかという方針を示しており、卒業後のキャリアも見据え、卒業時に「何ができるようになっているか」が明示されているといえます。

カリキュラム・ポリシー

教育課程の編成・実施方針をいいます。

ディプロマ・ポリシーの達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するのかを定める基本的な方針です。

ディプロマ・ポリシーを踏まえ編成されている学部・学科の教育課程にて、どの科目がどのような学習成果と関係するかが示されています。このカリキュラム・ポリシーはカリキュラム・マップに可視化されていますのでよく確認してください。学修方法・学修過程について理解することで、よりよい学びに繋がります。

アドミッション・ポリシー

各学部・学科の教育理念、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づく教育内容等を踏まえ、どのように入学者を受け入れるかを定める基本的な方針であり、受け入れる学生に求める学習成果（「学力の3要素」※についてどのような成果を求めるか）を示すものです。

学生のみなさんは、アドミッション・ポリシーに示されている知識や態度、能力は身に付けていると考えられますが、不十分な場合に備えたプログラムも設定されています（例えば、英語・数学の基礎確認プログラムなど）ご自身の状況にあわせて活用してください。

※（1）知識・技能、（2）思考力・判断力・表現力等の能力、（3）主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

カリキュラム・マップ

各学部では、教育理念を踏まえた三つのポリシーを策定し、大学教育の「入り口」（入学者選抜）から「出口」（卒業認定・学位授与）まで一貫した教育課程を三つのポリシーに基づき編成しています。カリキュラムは学部・学科の専門科目と大学共通の基盤教育科目から構成されます。三つのポリシーとともに各学部・学科の科目構成を2つのカリキュラムマップで可視化していますので、履修登録などの際に、各科目のカリキュラムでの位置づけを確認することができます。卒業認定・学位授与に向けたよりよい学びを進めるために、なにを学ぶのか、なににつながるのかを理解し、学修に役立ててください。

用語解説

1.ディプロマ・ポリシー
学位授与方針。

2.カリキュラム・ポリシー
教育課程の編成・実施方針。

3.アドミッション・ポリシー
入学者受け入れ方針。

用語解説

1.ディプロマ・ポリシー
学位授与方針。

2.カリキュラム・ポリシー
教育課程の編成・実施方針。

3.アドミッション・ポリシー
入学者受け入れ方針。

追手門学院大学 経済学部カリキュラムマップ

学部人材養成目的	5つのコースと4つのプログラムを通じて、幅広い教養とともに、進路に直結した経済学分野を系統的に学修する。商都大阪の歴史ある教育環境の下、規範と責任をもって社会や地域の担い手となる独立自強・社会有為の人材育成を目指す。				
ディプロマポリシー ¹	経済学部では、次の4項目にわたる力を学び取り、所定の単位を修得した学生に学位（学士（経済学））を授与する。 独立自強の建学精神に則り、社会に貢献するキャリアに邁進できる。				
科目区分（大・中区分）	必修科目 （右記5コースの学修を総括する演習科目）	学部共通科目 （全員履修できるように複数クラスを開講）	選択必修科目（コース科目）・・・各コースが推奨する科目とその望ましい履修年次		
4年次	EE10402 コース演習II-2 EE10401 コース演習II-1		公共経済コース	金融経済コース	環境経済コース
3年次	EE10302 コース演習I-2 EE10301 コース演習I-1	EE33331 金融論 EE33363 労働関連法 EE33361 社会保障 EE33325 地方財政論 EE33316 税法各論 EE33315 税法総論 EE33211 行政法	EE33331 金融論 EE33337 日本経済論2 EE33337 日本経済論1 EE33333 ファイナンス論2 EE33333 ファイナンス論1 EE33331 金融論 EE33214 商法 EE33313 民法（物権法）	EE33301 計量経済学 EE33338 日本経済論2 EE33337 行動経済学1 EE32254 マーケティング論 EE32253 マーケティング論基礎 EE33352 行動経済学2 EE33351 行動経済学1 EE33331 地方財政論 EE33214 地球環境論2 EE33341 地球環境論1	消費経済コース 生活経済コース
2年次	EE10202 コース基礎演習2 EE10201 コース基礎演習1	EE20211 マクロ経済学 EE20201 ミクロ経済学	EE32224 公共政策2 EE32223 公共政策1 EE32225 財政学 EE32221 経済政策 EE32213 民法（総則） EE32212 政治学概論2 EE32211 政治学概論1	EE32238 国際金融論2 EE32237 国際金融論1 EE32236 金融ビジネス論2 EE32235 金融ビジネス論1 EE32234 中級会計学原理 EE32233 初級会計学原理 EE32231 リスクと向き合う経済学	EE34324 産業組織論2 EE34323 産業組織論1 EE32244 食料経済論2 EE32243 食料経済論1 EE32242 環境経済学2 EE32241 環境経済学1 EE32224 公共政策2 EE32223 公共政策1 EE34324 産業組織論2 EE34323 産業組織論1 EE32254 マーケティング論 EE32253 マーケティング論基礎 EE32252 消費経済論2 EE32251 消費経済論1 EE32231 リスクと向き合う経済学 EE32262 生活経済論2 EE32261 生活経済論1 EE32213 民法（総則）
1年次		EE20122 外国経済史 EE20121 日本経済史 EE20131 統計学総論1 EE20111 実践基礎経済学 EE20102 経済学（基礎2） EE20101 経済学（基礎1）			
卒業要件（注）	12単位	10単位以上	34単位以上		
カリキュラムポリシー ²	ディプロマポリシーの学修要件を充足できるように、教育課程を次のとおり編成する。 基盤教育科目を初年次中心に28単位以上修得し、かつ、経済学部の学科科目を68単位以上修得して、合計で124単位以上修得することを課す。社会からの要請に応じて、授業科目以外の学習機会を広げ、ディプロマポリシーの実効性を確保するカリキュラムとなるように、継続的に取り組む。各学年で少人数の演習「経済学の基本領域を学ぶ」を履修させ、専門知識を系統立って吸収し、社会に向けて実践できるように、学科科目をコース科目とプログラム科目に分ける。 ディプロマポリシーの学修要件を充足できるように、1年次「経済学（基礎1）」、「経済学（基礎2）」、「統計学総論1」を履修させ、2年次に「ミクロ経済学」、「マクロ経済学」を履修させ、3年次の「演習1」、4年次の「演習II」の単位修得（いずれも春・秋学期）を履修させ、2年次に「ミクロ経済学」、「マクロ経済学」を履修させ、3年次の「演習1」、4年次の「演習II」の単位修得（いずれも春・秋学期）を履修させ、2年次に「ミクロ経済学」、「マクロ経済学」を履修させ、3年次の「演習1」、4年次の「演習II」の単位修得（いずれも春・秋学期）を履修させ、2年次に「ミクロ経済学」、「マクロ経済学」を履修させ、3年次の「演習1」、4年次の「演習II」の単位修得（いずれも春・秋学期）を履修させ、2年次に「ミクロ経済学」、「マクロ経済学」を履修させ、3年次の「演習1」、4年次の「演習II」の単位修得（いずれも春・秋学期）を履修させる。加えて、1年次に「日本経済史」、「外国経済史」のいずれかを履修させて、社会科学の基礎を備えさせる。				
アドミッションポリシー ³	(1) 政治・経済・社会問題に対して知的好奇心と、自主的・積極的に問題解決に取り組もうとする強い意志 (2) 豊かな構想力と人間性を身につけるために、経済学を中心に幅広い分野の学問を積極的に学ぶ意欲と能力 (3) 経済学に関する専門知識を活用して、経済・産業界のリーダーとして活躍しようとする意欲				

(※) 卒業要件単位数：124単位（基盤教育科目：28単位以上、学科科目68単位以上、残り28単位は自由選択）

変化する社会経済に向けて、学識を基にした先取的な提案を行い、実践する力を発揮できる。							
(どのコースからも履修可能)	選択必修科目(プログラム科目)					発展科目群	
	ビジネスリーダー養成プログラム	男女共同参画・女性応援プログラム	関西経済活性化プログラム	グローバルビジネスプログラム	キャリア特別プログラム OE50	教員免許	グローバルキャリア科目
EE33336 経済変動論2 EE33335 経済変動論1 EE34317 法学・政治学特殊講義 EE33309 情報分析 EE34307 数理・情報特殊講義 EE34328 経済政策特殊講義 EE34327 経済理論・経済史特殊講義 EE34321 国際経済学	EE46301 ビジネスリーダープロジェクト	EE46311 女性活躍プロジェクト	EE46321 関西経済プロジェクト	EE46331 グローバル経済プロジェクト EE46337 国際経営論	EE46352 キャリアシミュレーション(応用) EE46351 キャリアシミュレーション(基礎)	EE47296 地誌学2 EE47295 地誌学1 EE47294 自然地理学概説2 EE47293 自然地理学概説1 EE47292 人文地理学概説2	EE47298 国際表現演習
EE32234 国際事情 EE32233 国際コミュニケーション論	EE45207 ビジネス・プラクティス EE45205 リーダーシップ論 EE45203 国際ビジネスコミュニケーション EE45201 ビジネス・エコノミクス	EE45217 女性起業論 EE45215 ジェンダー論 EE45213 少子高齢化社会論 EE45211 男女共同参画社会論	EE45225 中小企業論 EE45222 関西経済論2 EE45221 関西経済論1	EE46377 外国経済特殊講義 EE45237 ヨーロッパ経済論 EE45235 アメリカ経済論 EE45233 アジア経済論 EE45232 オーストラリア経済論2 EE45231 オーストラリア経済論1	EE45254 ビジネスリテラシー(応用) EE45253 ビジネス数理スキル(応用) EE45252 ビジネスリテラシー(基礎) EE45251 ビジネス数理スキル(基礎)	EE47291 人文地理学概説1 EE47289 職業指導論 EE47286 東洋史概説2 EE47285 東洋史概説1 EE47284 西洋史概説2 EE47283 西洋史概説1 EE47282 日本史概説2 EE47281 日本史概説1	EE47297 国際特別演習
EE31125 租税論 EE31122 地域と暮らし2 EE31121 地域と暮らし1 EE31231 統計学総論2 EE31102 経済数学2 EE31101 経済数学1 EE31251 入門簿記	4 単位以上						
専門知識を系統立って吸収し、社会に向けて実践するための学科学科目のうち、どのコースにおいても基礎または応用に資するコース科目を提供する。	専門知識を系統立って吸収し、社会に向けて実践できるように、学科学科目をコース科目とプログラム科目に分ける。プログラム科目は4つのプログラムおよび選抜型特別プログラム(OE50)に分かれて、学生の主体的な社会との関わりに重点を置きカリキュラムとする。						

用語解説

1. ディプロマ・ポリシー

学位授与方針。

2. カリキュラム・ポリシー

教育課程の編成・実施方針。

3. アドミッション・ポリシー

入学者受け入れ方針。

追手門学院大学 経営学部カリキュラムマップ

学部人材養成目的	経営および関連領域に関する知識の獲得と実践的な経験を通して、企業などの組織に関するさまざまな活動に活用できる能力を身につけた社会的責任感のある学生を養成する			
ディプロマポリシー ¹	【実践的能力の涵養】 企業などの組織が直面する問題を体験的かつ協働的に学び、学修した理論や知見をビジネスの場で活かすための力を身につける		【基幹理論の学修】 経営学および関連領域の基幹的理論を学び、企業などの組織に関する現代的な問題を捉える検証力を身につける	
科目区分 (大・中区分)	主体的研究科目群		学部共通科目群	
	必修・全履科目 (演習)	選択科目	必修科目	学部共通科目
4年次	MM11402 卒業演習2 MM11401 卒業演習1			
3年次	MM11302 発展演習2 MM11301 発展演習1			
2年次	MM11202 基礎演習2 MM11201 基礎演習1	MM12201 経営学プロジェクト		MM22208 哲学基礎 MM22207 法律学基礎 MM22206 経済学基礎 MM22205 経営情報論 MM22204 経営における心理学 MM22203 民法(総則) MM22202 初級会計学原理 MM22201 マーケティング論基礎
1年次	MM11101 入門演習	MM12104 国際特別演習 MM12103 国際コミュニケーション論 MM12102 国際表現演習 MM12101 国際事情	MM21102 経営学への招待Ⅱ MM21101 経営学への招待Ⅰ	
卒業要件(※)	14単位 (+基盤2単位)		8単位	8単位以上
カリキュラムポリシー ²	主体的研究科目群では、少人数による実践的な学習活動を主体的に行う。専門教育で得た知識や理論を具体的な問題に対して適用したり応用したりする活動を通して、経営学および関連学問領域の理解を体験的に深める。 ただし、入門演習は、こうした活動を行うための導入科目であり、プレゼンテーションやディスカッションの基礎スキルを具体的な課題を通して身につける。		学部共通科目群では、経営学および関連学問領域の基幹的理論の修得を行う。特に、「経営学への招待Ⅰ」と「経営学への招待Ⅱ」は、経営学・マーケティング・会計学・法学・心理学・経営情報学に関する入門的な内容を扱う。	
アドミッションポリシー ³	経営学部では、目的とする人材を養成するために、以下のような学生の入学を期待しています。 (1) ビジネスおよびビジネスに関わる内容に関心がある (2) 自分の意見や体験を適切な表現で表明できる (3) 物事を論理的・数量的に考えることができる (4) これまでの活動成果を大学での学びに活かそうとする意欲がある			

(※) 卒業要件単位数：124単位 (基盤教育科目：28単位以上、学科科目：70単位以上、残り26単位は自由選択)

【専門性の涵養】 企業などの組織の問題を解決するために必要な専門的知識や理論を学び、組織の発展や改善に活かすことができる力を身につける

専門科目群

経営・マーケティング専攻科目			法務専攻科目	ビジネス心理専攻科目	情報システム専攻科目
<<経営学関連>> MM31308 経営史 MM31307 ビッグビジネス論 MM31306 CSR 経営論 MM31305 多国籍企業論 MM31304 ベンチャー企業論 MM31303 中小企業論 MM31302 現代企業論 MM31301 経営行動論	<<マーケティング関連>> MM32305 インターネットマーケティング MM32304 インターネットマーケティング基礎 MM32303 消費者行動論 MM32302 マーケティングリサーチ MM32301 サービスマーケティング論	<<会計学関連>> MM33305 国際会計論 MM33304 監査論 MM33303 経営分析論 MM33302 コスト・マネジメント論 MM33301 財務諸表論	MM34308 労働関連法 MM34307 金融法 MM34306 税法各論 MM34305 税法総論 MM34304 国際法 MM34303 手形・小切手法 MM34302 会社法 MM34301 企業法務	MM35306 広告心理学 MM35305 感性・デザイン心理学 MM35304 組織心理学 MM35303 コミュニティ心理学 MM35302 心理統計学 MM35301 ビジネス心理実習(4)	MM36309 情報と職業 MM36308 マルチメディア MM36307 デジタルマネジメント MM36306 インターネットビジネス MM36305 機械学習 MM36304 アルゴリズムとデータ構造演習 MM36303 アルゴリズムとデータ構造 MM36302 オペレーションズ・リサーチ MM36301 オペレーションズ・リサーチ基礎
MM31211 経営倫理 MM31210 国際経営論 MM31209 財務管理論 MM31208 ファイナンス論 MM31207 オペレーションズマネジメント MM31206 生産管理論 MM31205 人事労務管理論 MM31204 人的資源管理論 MM31203 経営組織論 MM31202 経営戦略論 MM31201 経営管理論	MM32203 流通システム MM32202 流通システム基礎 MM32201 マーケティング論	MM33206 管理会計論 MM33205 原価計算論 MM33204 工業簿記 MM33203 中級会計学原理 MM33202 中級簿記 MM33201 初級簿記	MM34209 刑法 MM34208 行政法 MM34207 社会保障法 MM34206 知的財産法 MM34205 会社法基礎 MM34204 商法 MM34203 民法(債権法各論) MM34202 民法(債権法総論) MM34201 民法(物権法)	MM35205 ビジネスの社会心理学 MM35204 コミュニケーションの心理学 MM35203 心理統計学基礎 MM35202 心理データ解析 MM35201 心理データ解析基礎	MM36211 データベース MM36210 コンピュータネットワーク MM36209 経営情報システム MM36208 プログラミング演習 MM36207 情報科学 MM36206 情報統計学 MM36205 情報数学 MM36204 プログラミング基礎 MM36203 情報科学基礎 MM36202 情報統計学基礎 MM36201 情報数学基礎
		MM33103 工業簿記演習 MM33102 商業簿記演習 MM33101 初級簿記演習		MM35101 社会調査基礎	MM36101 プログラミング入門

自専攻から 18 単位、他専攻から 22 単位

70 単位以上

専門科目群では、経営学および関連学問領域の主だった理論や、それらの修得に必要な知識や手法に関して学ぶ、必要に応じて主体的な学びを取り入れ、経営の現場で必要な知識を体験的に学ぶことも取り入れている。科目名に「基礎」と付くものは学習順序が指定されており、基礎の履修が終わってから、もう一方の履修を進める必要がある。
初級簿記演習・商業簿記演習・工業簿記演習は、高等学校において全商簿記2級や全経簿記2級の知識を修得した学生がより早く日商簿記検定3級・2級の修得を目指せるよう、1年次担当とする。

<p>企業のマネジメントやマーケティングの実施に必要な、情報を把握、整理し、鍵となる要因を見出す力を、時には実践的な学びも通じて身につけることができるようにする。そのために、各領域で以下のようなポリシーで科目を配置している。</p> <p>1. 経営学領域では、企業をはじめとする組織の運営に必要な、経営資源の最適配分に関する知識を身につけるため、人的資源管理論、経営組織論、生産管理論、財務管理論などを学ぶ。また、経営戦略論、国際経営論、CSR 経営論などの学習を通じて、競合他社をはじめとする経営環境との関係などに関する知見を習得する。</p> <p>2. マーケティング領域では、消費者に商品・サービスを効果的、かつ効率的に届けるためのアイデアとそれを実現するための知識を身につけることをめざし、マーケティング、流通システム、消費者行動などについて学習する。</p> <p>3. 会計学領域では、企業の財務・経理部門を担うことができる知識の習得をめざして、財務諸表論、原価計算、管理会計、監査論などを学ぶ。また、資格取得も視野に入れ、各種簿記科目を習得する。</p>	<p>公務員試験や宅建士などの資格試験の基礎となる知識を習得することを目的とし、民法(総則・物権・債権)などを学ぶ。また、実社会で役立つことを目的として税法、会社法、企業法務などを学ぶ。</p>	<p>消費者行動の予測や商品開発などのビジネスの現場で必要とされる、心理学の知識や社会調査などの方法論を学び、それらを活用する力を、ビジネス心理実習での実践的な学びを通じて身につける。</p>	<p>情報処理やプログラミング、経営統計学やオペレーションズ・リサーチなど経営分析に必要な基礎知識を学び、ネットワークやマルチメディア、データ・サイエンスやシステムズ・アプローチなどビジネスの問題解決に必要な方法論について理解を深めていく。</p>
--	---	--	--

用語解説

1.ディプロマ・ポリシー

学位授与方針。

2.カリキュラム・ポリシー

教育課程の編成・実施方針。

3.アドミッション・ポリシー

入学者受け入れ方針。

追手門学院大学 地域創造学部カリキュラムマップ

学部人材養成目的	人材養成目的 (1)「地域経済・事業創造」「観光・まちづくり」「都市文化・文化創造」に関する学修を通じて、幅広い教養を身につけ、日本社会全体および世界へとつながるグローバルな視野を持ち、地域社会の革新と発展に寄与する高度な知識と学士力を備えた地域イノベーション人材を養成する			
ディプロマ・ポリシー ¹	1. 地域創造のための基礎的・汎用的な実践的能力 ・地域社会を革新、発展させるために「幅広い専門知識」、「基礎的・汎用的能力」、「具体的な実践活動」の三要素が必要であることを理解している ・地域の問題・課題を総合的かつ実証的に考察することができる ・地域の問題・課題の解決策を、主体的に他者との交流・連携・協働の中で構想し、適切な方法で調査・分析・検討をした上で、他者に向けて意欲的かつ効果的に発信することができる	2. 専門学修のコアとなる知識および学際的なものの見方・捉え方 ・地域という「生活空間」に関する制度や法、政治、経済、行政、文化などに関する知識を獲得している ・地域創造学がもつ学際的な性格を理解し、幅広い教養を身につけることに高い関心をもっている		
科目区分(大分類)	主体的研究科目群		学部共通科目群	
科目区分(中分類)	実践演習科目群		学部コア科目群	地域経済・事業創造コース科目群
	科目コード	科目名	科目コード	科目名
4年次	JJ11403 卒業研究 JJ11402 地域創造実践演習(総括) JJ11401 地域創造実践演習(発展)			
3年次 または 3年次以上	JJ11302 地域創造実践演習(展開) 2 JJ11301 地域創造実践演習(展開) 1			
2年次 または 2年次以上		JJ21215 法律学概論2 JJ21214 法律学概論1 JJ21213 人文地理学概説2 JJ21212 人文地理学概説1 JJ21211 社会学概論2 JJ21210 社会学概論1 JJ21209 現代社会論 JJ21208 地域文化史研究 JJ21207 地域社会論 JJ21206 少子高齢化社会論 JJ21205 男女共同参画社会論 JJ21204 文化人類学 JJ21203 グローバル社会論 JJ21202 観光学入門 JJ21201 質的調査法	JJ31214 都市・地域安全論 JJ31213 ベンチャー経営論 JJ31212 事業創造論 JJ31211 技能承継論 JJ31210 事業承継論 JJ31209 中小企業論 JJ31208 地場産業論 JJ31207 地方財政論 JJ31206 地域開発論 JJ31205 公益事業論 JJ31204 地方公務員論 JJ31203 自治体政策論 JJ31202 地方行政論 JJ31201 地域政策論	
1年次 または 1年次以上	JJ11102 地域創造実践演習(入門) 2 JJ11101 地域創造実践演習(入門) 1	JJ21106 社会調査法 JJ21105 北摂学 JJ21104 会計学基礎論 JJ21103 マネジメント基礎論 JJ21102 経済学基礎論 JJ21101 地域創造学概論		
必修要件	20単位(演習:16単位+卒業研究:4単位)		8単位以上	
カリキュラム・ポリシー ²	地域創造に関して獲得した知識・技能・態度などを実際に活用させ、実践結果をもとに、不足している知識・技能・態度やより高次の知識・技能・態度の習得の必要性を自覚し、学びの深化や拡大につなげる。 学びの集大成として、4年間で獲得した理論や知識と実践を統合させた「卒業研究」を行う。	学際的な学問である「地域創造学」の基礎となる知識をバランスよく理解し、幅広い教養を身につける。		
アドミッション・ポリシー ³	地域創造学部では、「地域経済・事業創造」「観光・まちづくり」「都市文化・文化創造」に関する学修を通じて、幅広い教養を身につけ、日本社会全体および世界へとつながるグローバルな視野を持ち、地域社会の革新と発展に寄与する高度な知識と学士力を備えた地域イノベーション人材を養成することを目的としています。 この目的を実現するために、地域創造学部では、以下に示す意欲や知識を持っている学生を求めます。 (1) 地域経済、地域産業、商店街などの活性化に関心をもち、卒業後に、それらを活性化させる様々な事業・活動に従事したいという意欲をもっている学生 (2) 事業承継・技能承継・社会起業・ベンチャービジネス・NPO 活動などに関心をもち、卒業後に、そのような分野で活躍したいという意欲をもっている学生 (3) 観光政策、観光産業、観光ビジネスなどに関心をもち、卒業後に、地域の観光化の企画などに従事したいという意欲をもっている学生 (4) 地域の様々なヒトや団体と連携・協働して行う「まちづくり」に関心をもち、卒業後に、暮らしやすい魅力的なまちをつくる事業や活動に従事したいという意欲をもっている学生 (5) 大阪府北摂地域の諸都市や関西都市圏・京阪神地区において継承されてきた地域独自の文化に関心をもち、卒業後に、都市文化、地域文化の再発見や創造を通して、地域の魅力を創造する事業や活動に従事したいという意欲をもっている学生			

(※) 卒業要件単位数：124 単位 (基盤教育科目：28 単位以上、学科科目 66 単位以上、残り 30 単位は自由選択)

(2) 職業人として、また同時に生活者として、生涯にわたり地域創造に主体的に参画する人材を養成する（複数のスペシャリティをもつ地域創造のゼネラリストを養成する）

3. 複数のスペシャリティ (Major - Minor)				4. 関心領域および視野の拡大			
<p>・「地域経済・事業創造」、「観光・まちづくり」、「都市文化・文化創造」の観点から、地域再生や地域振興、地域活性化に関する知識や手法、技術を獲得している</p> <p>・学際的で幅広い学問分野の専門的な知見から、地域創造に主体的に参画する意欲をもっている</p>				<p>・地域創造に関する自らの関心領域を拡大することができる</p> <p>・グローバルな視野をもつことに高い関心を示すことができる</p>			
専攻科目群				発展科目群			
観光・まちづくりコース科目群		都市文化・文化創造コース科目群		発展科目		免許・資格科目	
科目コード	科目名	科目コード	科目名	科目コード	科目名	科目コード	科目名
JJ32214	観光行動論	JJ33213	災害復興論			JJ42296	倫理学概論 2
JJ32213	ニューツーリズム論	JJ33212	コミュニティ論			JJ42295	倫理学概論 1
JJ32212	障害者福祉論	JJ33211	地域イベント論			JJ42294	哲学概論 2
JJ32211	NPO 論	JJ33210	地域メディア論			JJ42293	哲学概論 1
JJ32210	地域交通・都市交通論	JJ33209	文化行政論			JJ42292	政治学概論 2
JJ32209	都市デザイン論	JJ33208	景観保全論			JJ42291	政治学概論 1
JJ32208	生活デザイン論	JJ33207	福祉文化論			JJ42290	地誌学 2
JJ32207	観光交流論	JJ33206	情報文化論	JJ41206	国際特別演習	JJ42289	地誌学 1
JJ32206	観光マーケティング論	JJ33205	食文化論	JJ41205	国際表現演習	JJ42288	自然地理学概説 2
JJ32205	ホスピタリティ論	JJ33204	生活文化論	JJ41204	国際コミュニケーション論	JJ42287	自然地理学概説 1
JJ32204	観光政策論	JJ33203	伝統文化論	JJ41203	国際事情	JJ42286	東洋史概説 2
JJ32203	観光立国論	JJ33202	現代文化論	JJ41202	発信英語 2	JJ42285	東洋史概説 1
JJ32202	観光資源論	JJ33201	文化遺産論	JJ41201	発信英語 1	JJ42284	西洋史概説 2
JJ32201	観光産業論					JJ42283	西洋史概説 1
						JJ42282	日本史概説 2
						JJ42281	日本史概説 1
<p>選択したコースのコース科目を 12 単位以上</p> <p>「地域創造学」の核となる「地域経済・事業創造」、「観光・まちづくり」、「都市文化・文化創造」の3つの視点から、直接関係する専門的な理論・知識を理解する。</p> <p>選択したコースの中で、学びの中心軸となる知識や視点を獲得させながら、他コースの科目も履修することができる仕組みとすることで、「地域創造学」の学際的な性格を考慮した、幅広い専門知識を習得することができる体制をとる。</p>				<p>日本社会全体及び世界へとつながるグローバルな視野を養い、また、留学を通じて国際感覚を身につけ、グローバル社会に対応した力を高める。</p>			
<p>地域創造学は、経済学や経営学、社会学など複数の学問分野にまたがる学際的な学問です。そのため、国語・数学・地理・歴史・政治経済・公民・英語など多数の科目についての知識を有し、基本的な理解をしていることが必要です。具体的には、地域の特色をとらえ、地域の問題・課題の解決策を考えるためには、地理・歴史・政治経済・公民といった知識が求められます。様々な地域を比較、分析するには基本的な数学の知識が必要になる場面もあります。また、文章と正しく理解し、正確なコミュニケーションを図るためには、国語や英語の知識とその運用能力が必須となります。これらの能力は地域創造学を学ぶ上で、ぜひ身につけておきたい能力です。</p>				<p>「地域経済・事業創造」、「観光・まちづくり」、「都市文化・文化創造」の3つの視点に留まらず、幅広い見識と視野を獲得し、また、学生の進路につなげる。</p>			

用語解説

1.ディプロマ・ポリシー

学位授与方針。

2.カリキュラム・ポリシー

教育課程の編成・実施方針。

3.アドミッション・ポリシー

入学者受け入れ方針。

追手門学院大学 社会学部カリキュラムマップ

学部人材養成目的	(1) 社会のなりたち、しくみ、解決が求められる諸問題などを明らかにできる人材を養成する。 (2) 自分自身が将来にわたって職業人として、そして家庭人、社会人として幸せな生活を築いていくための知識やスキルを身につけた人材を養成する。					
ディプロマポリシー ¹	①社会に生じる出来事を観察してそこから課題を見出し、社会学の知見を生かして考察して自分なりの解決策や企画を提示することができる。			②社会的な見方によって社会全般および身近な組織や地域を理解し、それを踏まえて自分の役割を考えることができる。		
科目区分	主体的研究科目群 (1)			学部共通科目群 (2)		
	科目コード	演習科目 (1-1)	科目コード	学部コア科目 (2-1)	科目コード	学部教養科目 (2-2)
4年次	FS11403 卒業論文 FS11402 卒論演習2 FS11401 卒論演習1					
3年次 または 3年次以上	FS11302 専門演習2 FS11301 専門演習1		FS21304 社会学理論 FS21303 社会学史 FS21302 質的調査2 FS21301 量的調査2			
2年次 または 2年次以上	FS11202 基礎演習2 FS11201 基礎演習1		FS21206 社会統計学 FS21205 文化人類学 FS21204 社会学概論2 FS21203 社会学概論1 FS21202 質的調査1 FS21201 量的調査1		FS22206 社会福祉概論2 FS22205 社会福祉概論1 FS22204 哲学概論2 FS22203 哲学概論1 FS22202 法学概論2 FS22201 法学概論1	
1年次 または 1年次以上	FS11101 社会学入門演習		FS21104 社会調査基礎 FS21103 社会文化論基礎2 FS21102 社会文化論基礎1 FS21101 社会学基礎			
必修要件	20単位					
カリキュラムポリシー ²	社会における多様な問題群に関する知識を得ると共に、それを自分なりに消化し、解決に向けた方策を筋道立てて考察できるようになるための素材と訓練を課すための科目		社会学の基本的な知識や分析用具を身につけ、使えるようにするための体系的知識の習得と訓練を課すための科目		社会学の隣接領域の知識を得ながら、社会の多様なあり方を包括的に考察することができるようにするための科目	
アドミッションポリシー ³	1. 大学の学びに必要な基礎学力としての知識や能力がある (知識・理解) 2. 物事を多面的かつ論理的に考察することができる (思考・判断) 3. 自分の考えを的確に表現し、伝えることができる (表現) 4. 社会、人間、文化、自然などにかかわる諸問題に深い関心を持ち、社会に積極的に貢献する意欲がある (関心・意欲) 5. 積極的に他者と関わり、対話を通して相互理解に努めようとする態度がある (態度)					

(※) 卒業要件単位数：124単位 (基盤教育科目：28単位以上、学科科目66単位以上、残り30単位は自由選択)

③社会学の理論や方法を用いて具体的な社会事象や人間関係を把握し、そこから自分の考えなどを言語表現、身体表現を通じて的確に伝え、よりよい社会関係を構築することができる。				④社会的な見方や考え方をより広い分野で応用するための知的な蓄積を持つことができる。	
専攻科目群 (3)				発展科目群 (4)	
科目コード	現代社会学コース (3-1)	科目コード	社会文化デザインコース (3-2)	科目コード	スポーツ文化コース (3-3)
		科目コード		科目コード	展開科目 (4-1)
FS31311	現代社会リサーチ特論 2	FS32307	コミュニケーション表現特論	FS33304	スポーツ文化特論 2
FS31310	現代社会リサーチ特論 1	FS32306	アート環境創造特論	FS33303	スポーツ文化特論 1
FS31309	医療社会学	FS32305	演劇・ダンス演習	FS33302	組織社会学
FS31308	ジェンダーの社会学	FS32304	メディア文化構想特論	FS33301	生涯スポーツ論
FS31307	ダイバーシティの社会学	FS32303	広告の社会学		
FS31306	犯罪社会学	FS32302	サブカルチャー特論		
FS31305	比較文化論	FS32301	現代文化論		
FS31304	現代社会特論				
FS31303	環境社会学				
FS31302	現代社会論				
FS31301	リスク社会学				
FS31216	現代社会論演習 2	FS32214	社会文化デザイン演習 2	FS33208	社会と健康
FS31215	現代社会論演習 1	FS32213	社会文化デザイン演習 1	FS33207	スポーツ戦略論
FS31214	現代社会リサーチ演習 2	FS32212	コミュニケーション表現演習 2	FS33206	スポーツマーケティング論
FS31213	現代社会リサーチ演習 1	FS32211	コミュニケーション表現演習 1	FS33205	スポーツ文化創造論
FS31212	病いの社会学	FS32210	演劇論	FS33204	スポーツ心理学
FS31211	人権問題論	FS32209	人間関係論	FS33203	スポーツ教育学
FS31210	福祉社会学	FS32208	身体表現論	FS33202	スポーツ文化論
FS31209	家族問題論	FS32207	コミュニケーションの社会学	FS33201	スポーツ社会学
FS31208	社会問題論	FS32206	芸能文化論		
FS31207	食と農の社会学	FS32205	芸術社会学		
FS31206	消費社会論	FS32204	文化社会学		
FS31205	都市社会論	FS32203	マスコミ論		
FS31204	科学技術論	FS32202	現代メディア論		
FS31203	グローバル社会論	FS32201	サブカルチャー論		
FS31202	流行の社会学				
FS31201	情報社会学				
		FS32102	コミュニケーション表現入門演習 2		
		FS32101	コミュニケーション表現入門演習 1		
46単位以上					
【講義】 2年次までに身につける知識や考え方を踏まえ、各プログラムにおける基礎的な知識を身につけ、それをもとに専門的知識を一般社会において活用できるよう訓練を課すための科目				専門科目における学びを踏まえ、卒業後の自身の進路を念頭に置いて、必要と見込まれる知識や考え方を身につけ、社会生活における専門知識の活用へとつなげられるよう訓練を課すための科目	
【演習】 2年次までに身につける知識や考え方、および、各プログラムにおける基礎的な知識を踏まえ、それを自分自身の課題に引きつけて活用し、ひとまとまりの考察や作品として提示することができるよう訓練を課すための科目					

用語解説

1.ディプロマ・ポリシー
学位授与方針。

2.カリキュラム・ポリシー
教育課程の編成・実施方針。

3.アドミッション・ポリシー
入学受け入れ方針。

追手門学院大学 心理学部カリキュラムマップ

学部人材 養成目的	幅広い教養の基礎のうえに、多様かつ実践的な心理学的知識を獲得することで、心理学の知識及び方法を様々な職業や実生活に生かし、自己実現をめざす豊かな人間性を持つ人材の育成を目的とする。				
ディプロマ ポリシー ¹	1 心理学の知識を応用できる実践的能力		2 心理学的な学修の基礎		
	【実践的能力の養成】多様な考え方を受容し、心理学を学ぶことによって培われた「思考力」、「想像力」、「分析力」等を用いて、社会や個人の抱えるさまざまな課題に自律的に取り組み、それらに対して客観的かつ論理的に対処する能力を涵養する。		【心理学の基礎的知識の修得】心理学を学ぶために必要な基礎的知識ならびに研究法を修得することで、客観的な視点から人間の行動や心を考察し、科学的かつ批判的な思考を行うことができる能力を身につける。		
科目区分	主体的研究科目群		学部共通科目群		
	研究・論文	実践演習	総合・一般心理学科目	研究法・実習科目	認知・脳科学系
	科目コード	科目コード	科目コード	科目コード	科目コード
4年次	PP11403 卒業論文 PP11402 卒業研究2 PP11401 卒業研究1				
3年次 または 3年次以上	PP11302 特論演習 PP11301 講読演習	PP12307 心理実習2 PP12306 心理実習1 PP12305 メンタルケア演習 PP12304 チャイルドサポート演習 PP12303 ビジネスリサーチ演習 PP12302 リサーチ演習 PP12301 心理演習	PP21302 心理学の歴史 PP21301 関係行政論		PP31306 感覚心理学特講 PP31305 認知心理学特講 PP31304 認知神経心理学 PP31303 感情心理学 PP31302 環境心理学 PP31301 社会認知神経科学
2年次 または 2年次以上		PP12201 ライフスタイル演習	PP21205 心理学総合科目 PP21204 倫理学概論2 PP21203 倫理学概論1 PP21202 社会学概論2 PP21201 社会学概論1	PP22208 心理学的データ解析 PP22207 心理学研究法 PP22206 心理的アセスメント PP22205 心理調査法実習 PP22204 心理検査実習2 PP22203 心理検査実習1 PP22202 心理面接実習2 PP22201 心理面接実習1	PP31204 認知神経心理学演習 PP31203 知覚・認知心理学 PP31202 認知心理学 PP31201 神経・生理心理学
1年次 または 1年次以上			PP21103 心理学概論2 PP21102 心理学概論1 PP21101 公認心理師の職責	PP22103 心理学統計法2 PP22102 心理学統計法1 PP22101 心理学実験	PP31101 認知・脳科学概論
カリキュラム ポリシー ²	獲得した知識をもとに自主的に問題を発見する力、必要な資料を収集する力、適切な方法を用いて研究を行う力、さらに得られた資料をもとに論理的に思考する力やそれらを論文にまとめる力など、総合的な能力を養う	実社会で使える心理学の知識を取得し、また、それらを実践的に応用するための能力を育てる。	心理学をより深く学ぶために必要な基礎的知識を修得する。また、心理学的な実験や調査を通じて、心理学の基礎的な方法論やスキルを問題設定に合わせて臨機応変に使用できる能力を養う。		脳と心の関係について実験的に検討し、認知・脳神経科学に関する専門知識を獲得して、科学的思考力を養成する。
アドミッシ ョンポリ シー ³	(1) 人間の心や行動に対する幅広い関心と探求心を持っている。 (2) 自分や他者の心に向き合い、他者とのつながりの中でお互いが心豊かに生きるための知識・技能を学ぼうとする意欲がある。 (3) 最初は難しくても理解できるまで努力する粘り強さを持っている。 (4) 卒業後は学んだことを生かして社会に貢献しようと考えている。				

(※) 卒業要件単位数：124 単位 (基盤教育科目：28 単位以上、学科科目 66 単位以上、残り 30 単位は自由選択)

3 各専門分野における深い知識			4 関心領域および視野の拡大	
【各専門領域の知識の獲得】心理学の各専門領域の知識と技術を学ぶことで、心理学的なものの方の見方や考え方を実社会に応用し、さまざまな価値観を有する個人や集団と柔軟かつ生産的な関係性を構築するための力を身につける。			【より専門性の高い学習のための基礎能力の養成と近接領域の知識の獲得】心理学と関連性の深い他領域の知識を積極的に学ぶとともに、より専門性の高い学習を行うための基礎となる知識や語学力を身につける。	
専攻科目群			発展科目群	
発達・教育心理学系	臨床心理学系	社会・犯罪系	外書購読	関連科目・留学
科目コード	科目コード	科目コード	科目コード	科目コード
PP32305 生涯発達心理学特講 PP32304 生涯教育心理学特講 PP32303 学習・言語心理学 PP32302 教育・学校心理学 PP32301 実験発達心理学	PP33309 上級査定法演習2 PP33308 上級査定法演習1 PP33307 心理療法演習7 PP33306 心理療法演習6 PP33305 心理療法演習5 PP33304 心理療法演習4 PP33303 心理療法演習3 PP33302 心理療法演習2 PP33301 心理療法演習1	PP34302 犯罪心理学特講 PP34301 集団力学特講	PP41305 認知心理学講読 PP41304 生涯教育心理学講読 PP41303 発達心理学講読 PP41302 社会心理学講読 PP41301 臨床心理学講読	
PP32207 行動論演習 PP32206 発達心理学 PP32205 教育心理学 PP32204 子ども学 PP32203 カウンセリング心理学 PP32202 家族心理学 PP32201 比較心理学	PP33212 心理学的支援法 PP33211 感情・人格心理学 PP33210 精神分析学 PP33209 精神疾患とその治療 PP33208 人体の構造と機能及び疾病 PP33207 司法臨床心理学 PP33206 障害者・障害児心理学 PP33205 介護心理学 PP33204 福祉心理学 PP33203 遊戯療法論 PP33202 認知行動療法論 PP33201 健康・医療心理学	PP34205 社会・集団・家族心理学 PP34204 社会心理学 PP34203 司法・犯罪心理学 PP34202 対人行動論 PP34201 産業・組織心理学	PP41201 中級心理学外書講読	PP42209 法律学概論2 PP42208 法律学概論1 PP42207 文化人類学 PP42206 社会福祉概論2 PP42205 社会福祉概論1 PP42204 国際コミュニケーション論 PP42203 国際特別演習 PP42202 国際事情 PP42201 国際表現演習
PP32101 生涯発達・生涯教育心理学概論	PP33101 臨床心理学概論	PP34101 社会・犯罪心理学概論	PP41101 初級心理学外書講読	
心理学の基礎知識を幅広く習得し、その知識を生活の中に活かし、教養的知識として、生活を豊かにする各専攻領域を学ぶことで、人の興味関心を知りそれにも関心を寄せることによって、自分の興味を広げ、さまざまな視点からものごとを考える力を養う	人間の発達や教育的関係にかかわる理論や研究法を専門的に学ぶ。心理的援助が必要とされる対象の心理社会的側面を多面的にアセスメントできる複数の視点や知識を獲得する。また、演習を通してそのような対象を援助する際に必要となる対人スキルや介入技法を実践的に学び、社会で活用できる対人援助スキルを養う。	個人と集団や社会との関連、対人関係における人の心理、犯罪に影響を及ぼす要因や防犯に対する意識について学びながら、社会において有用となる知識やスキルの養成を行う。	心理学に関するより深い知識を獲得するとともに大学院への進学を見据え、英語文献や英語論文を読みこなす力を養う。	心理学と関連性の深い、その他近接領域に関する知識を獲得し、他領域との比較を通して、心理学の基本的な考え方やその方法論について理解できる力を養う。

用語解説

1.ディプロマ・ポリシー
学位授与方針。

2.カリキュラム・ポリシー
教育課程の編成・実施方針。

3.アドミッション・ポリシー
入学者受け入れ方針。

追手門学院大学 国際教養学部国際教養学科カリキュラムマップ

学部人材養成目的	人材養成目的 国際教養学科においては、3つのコース制と全員参加の海外留学プログラムを組み合わせ、国際的に通用する教養と実践的な英語力を養成する教育課程の充実を企図している。時代と社会がグローバル化の波の中で大きく変動しつつある現在、英語をコミュニケーションツールとし、国際的な視野に立つ			
ディプロマポリシー ¹	1. 国際教養学のための基礎的・汎用的な実践的能力	2. 国際教養学的なものの見方・捉え方の基礎		
	グローバル社会において生じ得る問題を自らシミュレーションし、獲得したスキルを活かしてその解決策を論理的かつ能動的に導き出すことができる。	グローバル社会において求められる英語のスキルを基礎から応用までバランスよく習得し、グローバルな場において積極的に英語で相手とコミュニケーションを図ることができる。		
科目区分	主体的研究科目群		英語科目群	
	課題解決型科目群	専修英語科目群	実践英語科目群	グローバルリーダーコース科目群
	科目コード	科目コード	科目コード	科目コード
4年次	CC11402 ◎ Resarch Project 4 CC11401 ◎ Resarch Project 3			
3年次 または 3年次以上	CC11302 ◎ Resarch Project 2 CC11301 ◎ Resarch Project 1	CC21302 自律学習法演習2 CC21301 自律学習法演習1	CC22303 ○ Problem Solving Workshop CC22302 ○ Critical Thinking Workshop CC22301 ○ Discussion and Debate	CC31302 ○ 国際企業論 CC31301 ○ 市民活動と国際貢献
2年次 または 2年次以上	CC11204 ○ グローバル・イシュー4 CC11203 ○ グローバル・イシュー3 CC11202 ○ グローバル・イシュー2 CC11201 ○ グローバル・イシュー1	CC21202 ◎ Speech and Presentation CC21201 ○ Communication		CC31210 ○ 国際関係演習2 CC31209 ○ 国際関係演習1 CC31208 ○ 留学特別演習2 CC31207 ○ 留学特別演習1 CC31206 ○ 国際ビジネス論 CC31205 ○ 国際リーダーシップ論 CC31204 ○ Communication English CC31203 ○ Business Communication CC31202 ○ News English CC31201 ○ Media English
1年次 または 1年次以上		CC21104 ○ Writing 2 CC21103 ○ Writing 1 CC21102 ○ Reading 2 CC21101 ○ Reading 1		
必修要件	① 調和のとれた英語の四技能の向上を図りつつ、英語の読み書きの基礎から専門書の精読、英語での論文執筆や研究発表に至る、英語による応用的な受信・発信力を体系的に身につけるために「専修英語科目群」を1年次から置く。 ② 国際的に通用する教養を幅広く身につけるために、専修英語科目群を補充し、問題解決や討論、各種の英語検定資格の取得を企図した「実践英語科目群」と、英米の歴史・文化・文学、及び英語学の知見を通して国際教養力を高めるための「共通科目群」を置く。ここには英語の教員免許状取得に必要な科目が含まれる。 ③ 「グローバルリーダーコース」「グローバルキャリアコース」「グローバルコミュニケーションコース」という複数のスペシャリティに関係する専門的な知識と技能を習得するために、「コース科目群」を置き、選択したコースに特化した専門科目をバランスよく履修する。ここには、コース別に目的やキャリアにつながる英語力を養成するための英語科目群も含まれる。複眼的な視点に立った国際教養力を身につけるためにコースを横断して一定数の科目を履修する。			
カリキュラムポリシー ²	グローバル社会において生じ得る問題を自らシミュレーションし、獲得したスキルを活かしてその解決策を論理的かつ能動的に導き出すことを目的とする科目群。	グローバル社会において求められる英語の基礎的なスキルをバランスよく修得することを目的とする科目群。	英語の応用的なスキルを特定の目的別に修得することを目的とする科目群。	グローバル社会においてリーダーとして活躍する際に求められる基礎から応用までの専門的知識と技能を修得することを目的とする科目群。
アドミッションポリシー ³	① 英語をマスターして国際的に活躍したい者 ② グローバルな視野を持ち、そして自分で考え始めることのできる者 ③ 世界と日本の架け橋になりたいと志し、行動する者			

(※) 卒業要件単位数：124 単位 (基盤教育科目：28 単位以上、学科科目 56 単位以上、残り 40 単位は自由選択)

自国文化を眺め、自国文化との関係の中で、グローバル社会の諸問題をより多角的かつ客観的に把握し、それを解決する方策を導き出すことのできる人材の養成を目指す。

3. 複数のスペシャリティ		4. 関心領域の拡大		
修得した分野別の専門的な知識と技能をグローバル社会において応用的かつ実践的に用いることができる。		海外体験を通して高い英語運用力を身に付け、同時に異文化の受容と自国文化の理解を深めることができる。その上で、英米の歴史・文化・文学、及び英語学の知識を獲得し、英語教育の現場等においてそれらを応用的に用いることができる。加えて国際的な観点から、総合的かつ相対的に日本文化を眺めることができる。		
専攻科目群		発展科目群		
グローバルキャリアコース科目群	グローバルコミュニケーションコース科目群	国際日本学科科目群	免許科目群	留学科目群
科目コード	科目コード	科目コード	科目コード	科目コード
		CC41402 日本語教育実習2 CC41401 日本語教育実習1		
CC32302 ○環境と経済 CC32301 ○貿易から見る世界	CC33301 ○日本文学を英語で読む CC33302 ○世界関係論	CC41311 図書館・デジタルアーカイブ活用法 CC41310 日本語教育演習2 CC41309 日本語教育演習1 CC41308 国語科教育研究2 CC41307 国語科教育研究1 CC41306 日本の伝統文化を発信する CC41305 笑いをマネジメントする CC41304 日本の芸能と文学 CC41303 大阪文化史演習 CC41302 海外の日本文学研究 CC41238 日本語教授法		
CC32206 ○世界の中の日本 CC32205 ○インバウンド観光学 CC32204 ○World Englishes CC32203 ○Business English CC32202 ○Hospitality English CC32201 ○Travel English	CC33201 ○Academic Reading CC33202 ○Academic Writing CC33203 ○Academic Listening CC33204 ○Academic Speaking CC33205 ○英語と世界の言語 CC33206 ○宗教文化とグローバル化	CC41237 国語科教育論2 CC41236 国語科教育論1 CC41235 書道2 CC41234 書道1 CC41233 幕末史 CC41232 同時代文学を読む CC41231 越境する日本文学 CC41230 日本の宗教と思想 CC41229 イスラム世界と日本 CC41228 漢文学2 CC41227 漢文学1 CC41226 アジアの中の日本2 CC41225 アジアの中の日本1 CC41224 大阪の文学 CC41223 人形浄瑠璃文楽の世界 CC41222 狂言の世界 CC41221 漫才の世界 CC41220 落語の世界 CC41219 笑いコミュニケーション CC41218 世界のユーモアと日本の笑い CC41217 旅と温泉 CC41216 韓国から見た日本 CC41215 中国から見た日本 CC41214 ゲームシナリオ論 CC41213 世界のポップカルチャー CC41212 漫画文化論 CC41211 アニメ文化論 CC41210 日本史概説2 CC41209 日本史概説1 CC41208 日本文学概説2 CC41207 日本文学概説1 CC41206 日本文学史2 CC41205 日本文学史1 CC41204 応用日本語2 CC41203 応用日本語1 CC41202 国語学2 CC41201 国語学1	CC42224 英語科教育研究2 CC42223 英語科教育研究1 CC42222 英語科教育論2 CC42221 英語科教育論1 CC42220 ○ICTと英語教育 CC42219 ○ICTと英語研究 CC42218 ○情報科学各論2 CC42217 ○情報科学各論1 CC42216 ○アメリカ史 CC42215 ○イギリス史 CC42214 ○アメリカ文化講義 CC42213 ○イギリス文化講義 CC42212 ○米文学概論2 CC42211 ○米文学概論1 CC42210 ○英文学概論2 CC42209 ○英文学概論1 CC42208 ○英語学講義2 CC42207 ○英語学講義1 CC42206 ○言語情報処理概論2 CC42205 ○言語情報処理概論1 CC42204 ○英語音声学2 CC42203 ○英語音声学1 CC42202 ○英語学概論2 CC42201 ○英語学概論1	CC43205 国際特別演習（留学生専用） CC43204 国際コミュニケーション論（留学生専用） CC43203 国際表現演習（留学生専用） CC43202 国際事情（留学生専用） CC43201 ○Negotiation English
		CC41104 日本語のための古典2 CC41103 日本語のための古典1 CC41102 日本語学概説2 CC41101 日本語学概説1		CC43103 ○Spring Session CC43102 ○留学事前演習 CC43101 ○Summer Intensive Session
④海外体験を通して、英語を使用したコミュニケーション活動の実践、異文化理解、自国文化理解を促すことを意図した「留学科目群」を置く。 ⑤国際的な視野に立ち、現在の国際社会において直面し得る様々な問題に対応できる思考力と表現力を磨くために2年次から「課題解決型科目群」を置き、3年次・4年次のResearch Projectへと段階的に接続する。 ⑥国際的な観点から、総合的かつ相対的に日本文化を学び国際教養力を向上させるために「国際日本学科科目群」の中から一定数の科目を履修する。				
グローバルに展開しているビジネスの現場で求められる基礎的・応用的コミュニケーションの実践にから応用までの専門的知識と技能を修得することを目的とする科目群。	グローバルな場における異文化コミュニケーションの実践にから応用までの専門的知識と技能を修得することを目的とする科目群。	国際的な観点から、総合的かつ相対的に日本文化を学び国際教養力を向上させることを目的とする科目群	英米の歴史・文化・文学、及び英語学の知見を通して国際教養力を高める科目とともに、英語の教員免許状取得に必要な科目が含まれる科目群。	海外体験を通して、英語を使用したコミュニケーション活動の実践・異文化理解・自国文化理解を促すことを目的とする科目群

用語解説

1.ディプロマ・ポリシー

学位授与方針。

2.カリキュラム・ポリシー

教育課程の編成・実施方針。

3.アドミッション・ポリシー

入学受け入れ方針。

追手門学院大学 国際教養学部国際日本学科カリキュラムマップ

人材養成目的	(1) 日本の文化を深く理解し、相対的で客観的な異文化理解ができる人材を養成する (2) 日本語と外国語を用いて、自らの考えを国際的に発信する力のある人材を育成する (3) 「国語」または「外国語」としての日本語を教育することのできる人材を養成する			
ディプロマ ポリシー ¹	<知識・理解> (1) 日本語をはじめとした諸言語について深く理解し、適切に運用することができる (2) 日本の伝統的な文化から最先端の文化まで深く理解し、説明することができる <思考・判断> (3) 他の国との関係の中で、日本文化を見つめなおし、その価値や意義を客観的に考えることができる (4) 日本文化と他の文化を深く知るにより、様々な国際問題について自分自身の見解を持つことができる			
	1. 国際日本学のための基礎的・汎用的な実践的能力		2. 国際日本的なものの見方・捉え方の基礎	
	伝統的なものから最先端のものまで日本の文化を深く理解し、これを他の文化と比較しながら、日本文化についての自分自身の考えを文章または口頭で、他者に効果的に伝えることができる。また、フィールドワークやワークショップを通じて、自分自身で課題を発見し、これを適切な方法で調査・分析・検討することができる。		日本を発信するツールとして、日本語はもちろん、英語を含む世界の諸言語についても深く理解し、これを適切に運用する知識を得る。また、日本だけでなく他の国の文化についても深く理解することで、日本文化を見つめなおし、その価値や意義を客観的に考えることができる。	
科目区分	主体的研究科目群		学部共通科目群	
	実践演習科目群	実習系科目群	日本語・日本文化基礎科目群	外国語・外国文化基礎科目群
4 年次	CJ11403 Seminar 6 CJ11402 Seminar 5 CJ11401 卒業研究			
3 年次 または 3 年次以上	CJ11302 Seminar 4 CJ11301 Seminar 3	CJ12303 日本語ワークショップ CJ12302 笑学ワークショップ CJ12301 クールジャパン学ワークショップ	CJ21302 電子出版入門 CJ21301 国語学史	CJ22301 留学特別演習2
2 年次 または 2 年次以上	CJ11204 日本語プレゼンテーション2 CJ11203 日本語プレゼンテーション1 CJ11202 Seminar 2 CJ11201 Seminar 1	CJ12203 日本の魅力発信フィールドワーク CJ12202 演芸フィールドワーク CJ12201 テーマパーク研究	CJ21211 日本出版文化論 CJ21210 日本史概説2 CJ21209 日本史概説1 CJ21208 日本文学概説2 CJ21207 日本文学概説1 CJ21206 日本文学史2 CJ21205 日本文学史1 CJ21204 応用日本語2 CJ21203 応用日本語1 CJ21202 国語学2 (文章表現) CJ21201 国語学1 (音声言語)	CJ22216 グローバルリーダー ESP 4 (Communication English) CJ22215 グローバルリーダー ESP 3 (Business communication) CJ22214 国際関係演習2 CJ22213 国際関係演習1 CJ22212 留学特別演習1 CJ22211 Negotiation English CJ22210 国際事情 CJ22209 国際コミュニケーション論 CJ22208 国際表現演習 CJ22207 国際特別演習 CJ22206 Speech and Presentation (EAP) CJ22205 Communication (EAP) CJ22204 世界の言語と文化4 (アジア諸語) CJ22203 世界の言語と文化3 (ヨーロッパ諸語) CJ22202 世界の言語と文化2 (韓国語) CJ22201 世界の言語と文化1 (中国語)
1 年次 または 1 年次以上	CJ11101 日本語ワークショップ		CJ21104 日本語のための古典2 CJ21103 日本語のための古典1 CJ21102 日本語学概説2 CJ21101 日本語学概説1	CJ22107 Spring Session CJ22106 留学事前演習 CJ22105 Summer Intensive Session CJ22104 Writing 2 (EAP) CJ22103 Writing 1 (EAP) CJ22102 Reading 2 (EAP) CJ22101 Reading 1 (EAP)
カリキュラム ポリシー ²	(1) 「国際日本学」について総合的に学び、それを発信する力を身につけるために「実践演習科目群」を置き、2年次からはじめる「Seminar」を3年間体系的に学び、その集大成として、4年次に「卒業研究」を行う。 (2) 日本語を深く理解し、運用能力の向上を目指すために「日本語・日本文化基礎科目群」を置く。また、その理解の基礎となる、日本の文化や歴史を学ぶ科目も配置する。 (3) 日本を発信するツールとして、外国語を深く理解し、適切に運用するために「外国語・外国文化基礎科目群」を置く。また、その理解の基礎となる、他の国の文化や歴史を学ぶ科目も配置する。			
	「実践演習科目群」は、日本について深く学び、これを他の国の文化と比較することで得られた自らの考えを、文章または口頭で他者に向けて効果的に表現、発信する力を身につけることを目的とする。	「実習系科目群」は、「コース科目群」で得た知識をフィールドワークおよびワークショップなどアクティブラーニングの手法を使いながら、より実践的に学び、発信するためのスキルを身につけることを目的とする。	「日本語・日本文化基礎科目群」は、日本語を深く理解し、これを適切に運用することができる知識と技能を身につけることを目的とする。また、その理解の基礎となる、日本の文化や歴史を学ぶ科目も配置している。	「外国語・外国文化基礎科目群」は、日本を発信するツールとして、さまざまな外国語を深く理解し、これを適切に運用することができる知識と技能を身につけることを目的とする。また、その理解の基礎となる、客観的な異文化理解ができるよう、他の国の文化や歴史を学ぶ科目も配置している。
アドミッション ポリシー ³	(1) 日本の歴史と文化に強い興味を持ち、異文化との比較の中でより深く学ぶ意欲をもつ学生 (2) 日本文化について、日本語と外国語を用いて、国際社会に発信する力を身につける意欲をもつ学生 (3) 一定水準の学力、とりわけ「国語」の深い知識を有する学生			

(※) 卒業要件単位数：124 単位 (基盤教育科目：28 単位以上、学科科目 66 単位以上、残り 30 単位は自由選択)

<技能・表現>

- (5) 適切な日本語を用いて、文章および口頭にて自らの考えを円滑に表現することができる
- (6) フィールドワークやワークショップを通じて、自分自身で課題を発見し、これを適切な方法で調査・分析・検討したうえで、他者に向けて効果的に発信することができる

<関心・態度・意欲>

- (7) 日本の伝統的な文化や最先端の文化を、文化の異なる人々へ発信する意欲を持つことができる
- (8) 日本を発信するツールとして、日本語以外の諸言語を積極的に学ぶ意欲を持つことができる

3. 複数のスペシャリティ

伝統的なものから最先端のものまで、「クールジャパン学」、「笑学」、「日本学」それぞれのコースで日本文化に関する専門的知識を深く学び、文化の異なる人々へさまざまな「日本」を発信することができる。

4. 関心領域および視野の拡大

他の国の文化や歴史を深く理解することで、日本の文化を再発見し、現代のさまざまな国際問題について自分自身の見解をもつための契機とすることができる。また、国際日本学に関する自らの興味・関心領域を拡大し、視野を広げることができる。

専攻科目群

発展科目群

クールジャパン学コース科目群	笑学コース科目群	日本学コース科目群	発展科目	免許・資格科目
				CJ42402 日本語教育実習2 CJ42401 日本語教育実習1
CJ31302 デジタル・ヒューマニティーズ (デジタルが変える日本の教育と文化) CJ31301 海外の日本文学研究	CJ32302 笑いをマネジメントする CJ32301 大阪文化史演習	CJ33303 図書館・デジタルアーカイブ活用法 (図書館・デジタルアーカイブを活用した伝統文化研究) CJ33302 日本の伝統文化を発信する CJ33301 日本の芸能と文学		CJ42304 日本語教育演習2 CJ42303 日本語教育演習1 CJ42302 国語科教育研究2 CJ42301 国語科教育研究1
CJ31208 旅と温泉 CJ31207 韓国から見た日本 CJ31206 中国から見た日本 CJ31205 ゲームシナリオ論 CJ31204 世界のポップカルチャー CJ31203 漫画文化論 CJ31202 アニメ文化論 CJ31201 クールジャパン学基礎	CJ32208 大阪の文学 CJ32207 人形浄瑠璃文楽の世界 CJ32206 狂言の世界 CJ32205 漫才の世界 CJ32204 落語の世界 CJ32203 笑いコミュニケーション CJ32202 世界のユーモアと日本の笑い CJ32201 笑学基礎	CJ33210 幕末史 CJ33209 同時代文学を読む CJ33208 越境する日本文学 CJ33207 日本の宗教と思想 CJ33206 イスラム世界と日本 CJ33205 漢文学2 CJ33204 漢文学1 CJ33203 アジアの中の日本2 CJ33202 アジアの中の日本1 CJ33201 日本学基礎	CJ41232 世界関係論 CJ41231 宗教文化とグローバル化 CJ41230 日本文学を英語で読む CJ41229 英語と世界の言語 CJ41228 世界の中の日本 CJ41227 インバウンド観光学 CJ41226 環境と経済 CJ41225 貿易から見る世界 CJ41224 国際企業論 CJ41223 市民活動と国際貢献 CJ41222 国際ビジネス論 CJ41221 国際リーダーシップ論 CJ41220 ICTと英語教育 CJ41219 ICTと英語研究 CJ41218 情報科学各論2 CJ41217 情報科学各論1 CJ41216 アメリカ史 CJ41215 イギリス史 CJ41214 アメリカ文化講義 CJ41213 イギリス文化講義 CJ41212 米文学概論2 CJ41211 米文学概論1 CJ41210 英文学概論2 CJ41209 英文学概論1 CJ41208 英語学講義2 CJ41207 英語学講義1 CJ41206 言語情報処理概論2 CJ41205 言語情報処理概論1 CJ41204 英語音声学2 CJ41203 英語音声学1 CJ41202 英語学概論2 CJ41201 英語学概論1	CJ42205 日本語教授法 CJ42204 国語科教育論2 CJ42203 国語科教育論1 CJ42202 書道2 CJ42201 書道1

(4) 日本の伝統的な文化から最先端の文化まで深く理解し、3つのコースに関する専門的知識を身につけるために「コース科目群」を置き、選択したコースをより実践的に学ぶために「実習系科目群」を置く。

(5) 選択したコースに留まらず、幅広い見識と視野を獲得するために「発展科目群」を置く。また、日本文化を国際的に発信するための手段として想定される、中高の国語科教員および日本語教員養成に必要な免許・資格科目も配置する。

「各コース科目群」は、「クールジャパン学」、「笑学」、「日本学」それぞれのコースに関する専門的知識を深く学ぶことで、伝統的なものから最先端のものにいたる多種多様な日本の文化を、文化の異なる人々に向け、発信できるだけの十分な教養を身につけることを目的とする。

「発展科目群」は、幅広い見識と視野を獲得することを目的とする。また、日本文化の国際的発信の手段として想定される、免許・資格科目も配置している。